

トウキ

学名： *Angelica acutiloba* Kitagawa 科名：セリ科



トウキは薬用の目的で日本では主に和歌山県や奈良県などの薬園で栽培されています。高さ60〜90cmの多年草で、セロリに似た香りがします。葉はギザギザしていて、表面は濃い緑色でつやがあります。6〜8月にかけて、傘が開いたような形で多数の白色の花が咲きます。この咲き方を散形花序といいます。薬用には秋に根を掘りあげ、水洗いした後、日干しにするか、半乾燥のときに湯もみ洗いをして日干しにします。

トウキは様々な婦人薬に配合されている重要生薬です。婦人科3大漢方薬と言われている当帰芍薬散、加味逍遙散、桂枝茯苓丸のうち前2者にはトウキが配合されています。トウキには不足している血を補う作用、血行を促進して血の巡りを良くする作用があります。これらの作用により月経不順、生理痛、貧血性の頭痛、めまい、冷え性、更年期障害などの女性特有の疾患に用いられ女性を助けています。まさに婦人薬のエースです。

散形花序とは？

茎頂に多数の花が放射状に咲く形のことです。セリ科、ウコギ科の花によく見られる花のつき方です。



生薬名 当帰 (トウキ) 局方生薬

薬用部位 根

薬効 補血、強壮、鎮痛、鎮静作用

用途 婦人薬として用いられる。
当帰芍薬散 (トウキシャクヤクサン)、
加味逍遙散 (カミショウヨウサン) など



ザクロ

学名：*Punica granatum* L. 科名：ザクロ科



6月になるとザクロが赤色の花を枝先につけます。木々の緑の中に色鮮やかな花を咲かせる様子は、男性の中に混じる唯一の女性を意味する「紅一点」の由来となったそうです。秋頃に旬を迎える球状の果実は熟すと不規則に裂け、多汁性の赤く透明な果肉が姿を現します。爽やかな酸味がある果肉の食し方は生のままやジュースにする他に、グレンデンシロップと呼ばれるカクテルの材料として使用されます。「ビタミンC」などの栄養素を豊富に含むザクロは古くから「女性の果実」と呼ばれ、健康や美容に良いとされてきたそうです。また、種子から採取した植物油であるザクロオイルには「プニカ酸」と呼ばれる保湿成分が含まれ、老化防止の目的で利用されます。

主に庭園樹や食用とされているザクロですが、元々は薬用として渡来しました。幹や根の皮にアルカロイドの一種である「ペレチエリン」が含まれ、条虫駆除に用いたそうですが、毒性が強いため多量に服用すると中毒を起こす場合があります。その他、口内炎などにうがい薬として用いられたそうです。



生薬名	石榴皮（セキリュウヒ、ザクロヒ）
薬用部位	樹皮、根皮
薬効	抗微生物、駆虫、止瀉作用など
用途	条虫駆除薬、下痢止め、 うがい薬として口内炎や歯の痛みなどに用いられた。



ネムノキ

学名： *Albizia julibrissin* Durazz. 科名：マメ科



ネムノキは日当たりの良い河岸などに自生している高さ6〜9mの落葉高木です。6〜7月には紅色の花が咲きます。「合歓の花（ねむのはな）」は俳句に入れる夏の季語として知られています。葉の形は同じマメ科のオジギソウに似ています。オジギソウの葉は何かに触れると閉じますが、ネムノキの葉は夜になると閉じます。夜に葉を閉じている姿が眠るように見えることからネムノキと言われています。また、ネムノキは万葉集でも読まれていて、当時はネブと呼ばれていました。

民間薬として鎮痛、鎮静、利尿、駆虫薬として不眠、打撲、腰痛、関節痛、水虫などに使用されています。薬用部位は樹皮で7〜9月にはぎ取り、水洗いして日干しにします。樹皮にはタンニンが含まれています。タンニンは過剰摂取による胃腸障害や、鉄分の吸収を妨げることがあるため、胃腸の弱い方や妊婦の方には注意が必要です。

閉じている葉



生薬名	合歓皮（ゴウカンヒ）
薬用部位	樹皮
薬効	鎮痛、鎮静、利尿作用
用途	打撲、腰痛、関節痛に用いられる。



ハマボウフウ

学名： *Glehnia littoralis* Fr.Schm ex Miq 科名：セリ科



ハマボウフウは海岸の砂地に自生している高さ10cm程度の多年草です。光沢のある厚い葉で地上に出た茎は赤色を有しています。6～7月に20～40個の白い花が放射状に隙間なく咲きます。セリ科の植物は、このような放射状に咲く花が多いです。8～9月に根、根茎を掘り起こし、水で洗って日干しし、薬用に使用します。

ハマボウフウは山菜として、天ぷらや炒め物などで食べられています。また、若葉は刺身のつまに使用されています。地上に出ている葉は硬く食べづらいため、地上に出していない砂に埋まった茎の白い新芽を食用にします。現在は乱獲によって簡単に採取できる所は少なく、乱獲を防ぐため採取を禁止している場所もあるそうです。

同じセリ科の局方生薬「ボウフウ」の代用品として防風通聖散、清上防風湯、十味敗毒湯などの漢方薬に配合されています。発汗、解熱、鎮痛作用があり、感冒に用いられます。また、発汗作用を利用した入浴剤は湯冷めしにくく、冷え性の方に良いです。

生薬名 浜防風（ハマボウフウ）局方生薬

薬用部位 根、根茎

薬効 発汗、解熱、鎮痛作用

用途 発汗、解熱、鎮痛に用いられる。
防風通聖散（ボウフウツショウサン）、清上防風湯（セイジョウボウフウトウ）、十味敗毒湯（ジュウミハイドクトウ）

